

科学研究費補助金（特別推進研究）研究進捗評価結果

課題番号	18002006	研究期間	平成18年度～平成21年度
研究課題名	大型偏極ターゲットを用いたハドロンのクォーク・グルーオン構造の研究		
研究代表者名 (所属・職)	岩田 高広（山形大学・理学部・教授）		

【平成20年度 研究進捗評価結果】

該当欄		評価基準
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

（評価意見）

本研究課題は、グルーオンのスピン偏極の直接測定を目指す CERN の COMPASS 実験によって、核子のスピンの起源を探り、核子の構造をクォーク・グルオンレベルで解明しようとするものである。本研究グループは、偏極標的に関してその経験と実績を持つ専門家集団として、本大型国際協働実験の遂行に中心的な役割を果たしており、高く評価できる。また、データ収集も着実に行われ、特別推進研究として順調に研究計画が進行しているといえる。今後、本研究グループのプレゼンスを国際的にさらに高める努力を払い、データ解析を加速し物理成果の抽出においても十分の貢献をすることが望まれる。

【平成22年度 研究進捗評価結果に対する検証結果】

研究進捗評価結果どおりの成果が達成された。